

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
該当事項はありません。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
該当事項はありません。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
定額法によっております。
- (4) 引当金の計上基準  
退職給与引当金…期末の要支給額の全額を計上しています。  
会館補修引当金…補修に要する額の見積り額を計上しています。
- (5) 消費税等の会計処理  
該当事項はありません。

3. 会計方針の変更

該当事項はありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
【基本財産】	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
【特定資産】				
表彰弔意積立金	2,024,138	18	0	2,024,156
退職給付引当資産	1,893,562	16	0	1,893,578
会館運営維持積立金	19,452,947	700,163	0	20,153,110
会館補修引当資産	7,817,601	300,066	0	8,117,667
口腔保健センター積立金	6,868,529	300,678	0	7,169,207
小計	38,056,777	1,300,941	0	39,357,718
合計	38,056,777	1,300,941	0	39,357,718

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
【基本財産】		—	—	—
小計	0	—	—	—
【特定資産】				
表彰弔意積立金	2,024,156	—	2,024,156	—
退職給付引当資産	1,893,578	—	—	1,893,578
会館運営維持積立金	20,153,110	—	20,153,110	—
会館補修引当資産	8,117,667	—	—	8,117,667
口腔保健センター積立金	7,169,207	—	7,169,207	—
小計	39,357,718	—	29,346,473	10,011,245
合計	39,357,718	—	29,346,473	10,011,245

6. 担保に供している資産

該当事項はありません。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	備考
建物	59,600,000	26,820,000	32,780,000	
医療機械	7,965,387	7,608,251	357,136	
什器備品	8,731,835	5,534,044	3,197,791	
合計	76,297,222	39,962,295	36,334,927	

8. 引当金の内訳並びに当期の増減額及び残高

(単位：円)

引当金の名称	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,893,562	16			1,893,578
会館補修引当金	7,817,601	300,066			8,117,667
合計	9,711,163	300,082	0	0	10,011,245

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細  
財務諸表に対する注記に記載している
2. 引当金等の明細  
財務諸表に対する注記に記載している